

里山フリースクール理念文（TAIKI の考え方）

基本理念

里山フリースクールは、「不登校」や「引きこもり」と呼ばれてきた若者を、社会に羽ばたくための「TAIKI（未来に貢献するための準備期間）」と捉えます。
それは、何もしていない時間ではなく、自分の力を育み、社会に役立つ存在へと成長するための大切な時期です。

TAIKI の定義

T : Try（自分を試す）

A : Awake（新しい気づきを得る）

I : Integrate（心と体を調和させる）

K : Keep Growing（成長を続ける）

この「TAIKI」という言葉は、待つことそのものを価値に変え、前向きな意味を持たせています。

目指す姿

1. 自己肯定感の回復

「自分は社会に必要とされている」という実感を持てること。

2. 自然と共に学ぶ

里山での生活体験を通して、自分自身のペースで力を取り戻すこと。

3. 社会との接続

フリースクールを卒業した時には、TAIKI 期間を経て得た力を社会に還元できる人材になること。

行政・地域社会へのメッセージ

私たちは、TAIKI 人材を「社会的課題」ではなく「未来を支える芽吹き」として位置づけます。

地域が共に見守り、支え合うことで、TAIKI 期間は「希望の時間」に変わります。

まとめフレーズ

TAIKI とは、未来に羽ばたくために力を蓄える時間。

里山フリースクールは、TAIKI の仲間たちが安心して自分を育み、社会に貢献できる人材へと成長していく場です。

鳥羽里山フリースクール 企画書

1. 目的・背景

鳥羽市の豊かな自然環境と森林資源を活かし、不登校・引きこもり・社会的孤立に悩む子どもたちに自然とのふれあいと実践的な学びを提供する。息子の体験をベースに、自然とともに過ごすことで回復と自立への道筋を描き、将来の社会的参加を目指す。

私自身の息子は、小学1年生から中学3年生までほとんど学校に通うことができず、不登校の時期を長く過ごしました。全寮制の高校に進学したものの、集団生活の緊張から過呼吸や体調不良に悩まされ、再び社会から離れてしまいました。

そんな中で出会ったのが、「山」の仕事でした。最初は父である私の林業会社の仕事を手伝うところから始まりましたが、チェンソーを使って木を切る感触、森の中での静けさ、薪を割る達成感。これらが彼に少しずつ自信と笑顔を取り戻させました。

森の中での作業は、決して急かされることもなく、自分のペースで取り組める。人と比べられることもなく、「自分の力で自然と向き合う」体験そのものが、彼にとって「生きる力」を取り戻す療養だったのです。

今では同世代の若者と一緒に山で働き、笑顔で汗をかき、時に後輩の指導役になることもあります。この体験を、多くの子どもたちや若者に伝えたい。そんな思いから「鳥羽里山フリースクール」は生まれました。

2. プロジェクト概要

本プロジェクトは、鳥羽里山キャンプ場を拠点とした住み込み型のフリースクールです。対象者は小学生～若年成人まで、年齢や状態に応じた支援とプログラムを提供します。

3. 対象者と受け入れ体制

- 小学生～中学生：不登校・情緒不安定な子どもたちへの自然体験と個別学習
- 高校生～若年成人：社会復帰や職業訓練を目的とした実地体験型教育（林業・農業・自然活動）
- 家族：必要に応じた相談と一時滞在の支援

4. 教育・体験プログラム

■ 小中学生向け

- 森林浴・自然散策
- 調理・火起こし・木工
- 絵・作文・創作活動
- どうぶつや畑の世話
- 自己表現の時間

■ 高校生以上向け

- チェンソー講習（資格対応）
- 間伐・伐採・薪割り・植林
- アルバイト型「里山チケット制度」
- 地元事業者との協働（木工・漁業等）
- 就職・自立支援

私の息子がそうだったように、不登校や引きこもりの若者は、言葉で自分の思いを表現することが難しいことがあります。森の中では、言葉よりも体で感じることに、手を動かして創ることが「学び」となり、「癒し」となります。

鳥羽の里山という最高のフィールドで、自然の中で木に触れ、火を扱い、仲間と食事を作る。自分が切った木を薪にし、それで湯を沸かし、お風呂に入る。この循環こそが、彼らに「自分の存在価値」と「達成感」を教えてくれるのです。

実際に、息子も最初は道具を握ることすら怖がっていましたが、今ではチェンソーの整備も自分で行い、地元の仲間と共に森林整備に取り組む日々を送っています。

5. スケジュール例（平日）

- 9:00 朝の会・自然散策
- 10:00 午前プログラム（自然体験）
- 12:00 昼食（自炊）
- 13:00 午後の学習・創作
- 15:00 ふりかえり・自由時間

6. 運営体制

- 校長／統括：1名（小田和人）
- 林業指導者：2名
- 学習支援者：2～3名
- 心理・福祉担当：必要に応じて
- 非常勤講師：木工職人・漁師等

7. 資金計画と支援制度

- 受講費（月額2万円～10万円：通学／住み込み）
- アルバイト支援：1日1万円相当のチケット
- JD クレジット連携：里山整備で環境貢献＋資金循環
- 助成金・寄付・ふるさと納税の活用

8. 今後の展開と地域との連携

- 地元企業との連携強化
- 地域の一次産業との協働体験
- 教材の開発、出版、講演活動への展開
- 全国モデルとしての拠点化